

※一般質問の内容は、議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無会派)

(仮称) 郷土史博物館基本構想について

問 郷土資料館が入っている市民文化会館のリニューアルに係る経費はどのくらいか。

部長 ごく粗い試算で35億から40億円程度。改修箇所や最近の物価上昇が十分に反映されないため、工事等実施設計により検討する。

市長 当局はいろんな計算、角度から物事を進めているので大丈夫。仮に30億円借金しても、30年間で1億円ずつ払っていく。そのような返済計画を立てれば、そんなに恐るるに足りないこと。ご心配なく。いろいろ修繕して見違えるような生まれ変わった文化の殿堂にしていく。

問 市史編さん事業を生かした博物館計画を進めるべきと考えるがいかがか。

部長 市史編さんの成果を博物館の展示などに活用していく。

意見 私は結論として、博物館は時期尚早だと考える。理由としては、市民が博物館の必要性を考えていないこと、市民の声を十分取り入れていること、市民文化会館に多額の費用がかかること、市史編さん・史跡富士山基本計画との連携、今の文化課では博物館構想は荷が重いこと、である。富士宮市民が日本を変えていくかもしれない。だから歴史文化は大切。どうせ作るならいいものを作ってほしい。しかし、今は時期尚早。

問 博物館構想の予算を当初予算に入れなかったか、市長の新聞折り込みチラシに博物館のことが載っていない。市長の今後の考え方は。

市長 博物館整備推進は、今後の富士宮市に絶対必要で、未来を担うといっても言い過ぎではない。市民及び議会において賛否があるので、次の選挙で選ばれた市長の下で判断すべき。渡辺紀市長、吉田廉市長の代からの悲願であるので何としてでもまとめていきたい。



ふかさわ りゅうすけ
深澤 竜介
(無会派)

子育て支援として、給食費の減免の提案

問 給食費は、中学生5300円、小学生4400円と大きな負担である。一方、子育て支援策及び人口流入策として、給食費を減免している自治体が増えている。小中学生全てではなくとも、例えばいろいろとお金がかかる中学生だけ減免する考えはないか。

市長 今のところない。

意見 子育て世帯にとっては、明日の1万5千円よりも、今日の1万円が必要である。中学3年生とか第3子を対象に検討していただきたい。

物価上昇対策として水道料金の減免の提案

問 令和3年度の富士宮市の決算は黒字である。一方、円安等の影響で電気ガス代をはじめ物価が高騰し、市民生活を圧迫している。そこで、水道料金の基本料金の減免を提案する。

部長 考えていない

意見 基本料金の減免であれば、システム改修500万円だけで簡単に行うことができる。市民に対して、富士宮市は市民の生活を守ってくれるというメッセージにもなると思う。

水道の防災対策と井戸の活用

問 清水区では、長期間大規模断水があったが、富士宮市の水道の防災対策はいかがか。

部長 主要な水源は、流木や土砂により、取水できなくなるリスクは低い。また、主要水源間は、管網整備により、それぞれがバックアップ機能を確保してある。停電に対しては、10時間以上の連続運転ができる体制になっている。

「さがし坂上」の通学路の改良について

問 ここは、幅員が狭い上に朝夕は交通量が多く、通学路として危険である。改良の方向性はいかがか。

部長 2mの歩道の整備を令和4年度設計。令和5年度、6年度の2か年で工事予定である。